

社会教育ふっさ

昭和 55 年度 版

福生市教育委員会

市 民 憲 章

美しく連なる山なみを望み、しずかに流れる多摩川のもと、雑木林と桑畑の武蔵野台地にひらけた福生市は多くの人たちのたゆみない努力によって発展をつづけています。

私たち市民は、この地をふるさととして愛し、平和を願い、いきいきとした市民のまちをつくるため、ここに市民憲章を定めます。

1. 私たちは 健康な心と体をつくり 充実した豊かな日々をおくり
ましょう。
1. 私たちは 老人を敬い 子供の健やかな成長につとめ 明るい家
庭をつくりましょう。
1. 私たちは 自然をたいせつにし 花や木を育て 美しい緑のまち
をつくりましょう。
1. 私たちは 教養を高め 情操を養い 文化の薫るまちをつくりま
しょう。
1. 私たちは たがいに親しみ 助けあい みんなが幸せになるまち
をつくりましょう。

は　じ　め　に

昭和55年度の福生市の社会教育の状況をご報告するに当り、まず当市の社会教育の振興のためにいろいろご協力、ご指導いただきましたことを厚く御礼申し上げます。

すべての市民があらゆる機会、あらゆる場所において、自ら進んで社会教育活動を進めることが、これからの福生市民の生活の充実、地域の向上、そして文化の向上につながると言えます。そのような市民の行う社会教育活動に対して行政側の役割は、活動しやすい条件を整えることが最大の目標であると思います。その面では、お蔭様で昭和55年度は、公民館機能の整った“白梅会館”の開館、福東公園の整備等、学習・体育活動と、一層市民の皆様の社会教育活動の条件が整ったと言えると思います。

今日では、市民の皆様の学習、体育諸活動の内容、要求も多種、多様になっています。教育委員会では、社会教育が生涯教育であるという観点に立ち、このような市民の皆様が行う社会教育活動に対し、適切にお応えできるようにこれらの施設を中心にして、活動内容を一層充実させて参りたいと存じます。

このたび福生市における昭和55年度社会教育活動のまとめができました。この報告書がこれからの諸活動の資料の一助となれば幸いです。多くの方にご高覧いただきご意見とご批判をいただければ有難いと存じます。

福 生 市 教 育 委 員 会

教 育 長 森 田 猛